



第26回渋川市武道フェスティバル 5つの競技団体が見事な演武を披露

3月27日に市武道館で、第26回渋川市武道フェスティバルが開催されました。これは、広く市民に武道を振興し、武道の奨励・普及を図るとともに、青少年の健全育成に寄与するため、毎年開催されています。模範演武として、空手道、少林寺拳法、剣道、武術太極拳、弓道の5つの団体の選手たちが、日頃の練習の成果を披露しました。



小野池里山桜まつり 咲き始めの桜に春を感じる



4月2日に小野池あじさい公園で、小野池里山桜まつりが行われました。渋川広域ものづくり協議会が、花によるまちづくりの一環で実施したもので、参加者は少し早めの桜を楽しみながら公園内をウォーキング。暖かい日差しの中、レンギョウの植栽体験も行いました。

シッティングバレー ポール備品導入式 共生社会へ競技普及を促進

4月9日に子持社会体育館で、シッティングバレー ポールの備品導入式が行われました。東京2020パリリンピックの実施種目になった競技の普及により、共生社会実現の促進を図るもので、式では、同体育館を拠点に活動するチームのG-BANDEに備品が手渡されました。この備品は、誰でも使用できます。

子持公民館のレザーラクラフト教室 革の小物入れを縫い上げる



3月22日・29日の2日間、子持公民館でレザーラクラフト教室が開催されました。参加者たちは、革に縫い穴を開けて針と糸で革を縫い合わせ、2日かけて丁寧に一つの作品を作成。一人一人の個性が光る、オリジナルの小物入れが完成しました。



ふるさと再発見inおのがみ6 隠れた地元の名所を歩いて確認

4月3日に生涯学習おのがみチーム主催の「ふるさと再発見inおのがみ」が開催されました。小野上地内の野仏を巡りながら、隠れた名所を再発見する企画に25人が参加。約10kmのコースを歩く中で、プロツコリーの収穫や採石場内の見学のほか、100体以上の石仏が安置された洞窟を訪れるなど、普段はできない貴重な体験を楽しみました。



赤城歴史資料館の企画展 修験者「無幻道人」の書を紹介



赤城歴史資料館において、企画展「修験者 無幻道人～後世に伝える金石文～」を開催しています。無幻道人は、江戸時代後期に活躍した修験者であり、書家としても上毛の三筆といわれました。そんな無幻道人の書を刻んだ石碑などを紹介しています。企画展は7月31日まで開催。

北橘幼稚園の入園式 今日から楽しい幼稚園



4月8日に北橘幼稚園で、令和4年度入園式が行われました。保護者と手をつないで入場した新入園児の8人は、園長先生の話をしっかりと聞き、在園児たちと一緒に歌を歌いました。慣れない場所に戸惑う様子もありましたが、楽しい幼稚園生活をスタートしました。

架け替えた芝附橋の開通式 幅を広げて安全な橋が完成

八木原地内の午王川に架かる芝附橋の架け替え工事が完了し、3月30日に開通式を行いました。以前の橋は、幅が狭く、老朽化していたため、平成30年度から工事を開始し、歩行空間を広く確保した安全な橋へ生まれ変わりました。当日は、橋名板の文字を書いた地元の児童3人が参加し、橋名板の設置を見届けました。

